

なおき先生が中学受験のお悩みになんでも答える！
3回のライブセミナーのまとめ

第一回

- 1.中だるみ状態の解消法 処方箋：休憩期間を与えつつ、最低限のルーティンは維持
- 2.長文記述の対策法 処方箋：記述が苦手な子はまずは「抜き出してパクリ」訓練をさせる
- 3.効率的な暗記方法 処方箋：インプットよりもアウトプット重視で
- 4.解き直しが嫌いな子のための苦手対策法 処方箋：好きなもので嫌いなものをサンドイッチ
- 5.過去問と塾の宿題の両立方法 処方箋：過去問が難しいなら、夏明けは「基礎がため」をこそ急ぐ時期
- 6.勉強が嫌いな子への対処法 処方箋：期限を自分から決めさせる

第二回

- 1.中学受験の推薦図書 処方箋：中学受験再頻出の図書ラインナップをご紹介
- 2.国語の効果的な復習の仕方 処方箋：解答の選択肢をしっかりと分析し、教訓を一言でまとめる
- 3.中学受験の理想の睡眠時間 処方箋：「理想」は一人一人によって違うので、お子様に合わせたスタイルを模索
- 4.冬休みに向けてやっておくべきこと 処方箋：過去問対策を計画的に行い、見つかった弱点を補強していく
- 5.小六冬に娘が突然勉強しなくなった…どうしたらいい？ 処方箋：本当の理由を考え、志望校の視野を広げてあげることが大切

第三回

- 1.テスト戦略を立てるときの、合格最低点との付き合い方 処方箋：過去問を3、4回解いても合格最低点レベルなのは危険
- 2.自宅学習がうまくいっていない場合の見極め方 処方箋：家庭学習をさせるための正しい学習習慣の確立にはある程度の強制力が必要
- 3.努力と結果の差への正しい向き合い方 処方箋：表面に表れない成長や、努力のプロセスを見てあげる努力
- 4.夏休み明けダウンにどうやって向き合うか 処方箋：最低ラインはキープしつつ、子供のメンタルの変動曲線を理解してあげる
- 5.「ここ以外なら公立」という父親の要求への対処の仕方 処方箋：明確なビジョンを持ったプレゼンに、父親は弱いもの
- 6.公文のみで受験する危機感の無さへの対処法 処方箋：動画や問題などで、正しい中学受験情報を与えるところから始めよう
- 7.受験日程を決める際の2/1チャレンジはどの程度が許容範囲？ 処方箋：2/1は分相応な「チャレンジ」あたりがちょうどいい
- 8.子供が「頑張ってる」の一点張りで、努力しようとしめない場合の対処方法 処方箋：具体的に何を頑張っていけばいいのか、努力内容が見える化する
- 9.過去問演習が多くなってきた場合の塾との付き合い方 処方箋：塾の同調圧力に屈してはいけない。過去問第一優先。
- 10.やってもやっても計算ミスが多い場合の対策法 処方箋：毎日の練習が「写経」になってないか注意。本質を理解して取り組む。